

## 高等部研究テーマ

### 「生活単元学習における、自立に向けた学習の内容整理」

#### 1. テーマ設定の理由

全体目標「自立に向けた学習内容の共有化」を受けて、生活単元学習における自立に向けた学習の整理に取り組むこととした。高等部における「自立に向けた学習」は主に、週に1回2コマ続きの、生活単元の授業で行われている。生活単元の目標に即して各学年の担当者が学習内容を決めているが、学年を超えて学習内容を共有することが難しく、今の学習がどうつながっていくのかが見えにくい。また、学習内容を決める際に、いつ、何を取り組んでいったらよいか曖昧であった。そこで、目標や観点、今までの学習内容などを整理・分類することで、3年間の指導の系統性を整理していくことができると考え、このテーマを設定した。

#### 2. 研究方法と経過

年間指導計画の中から「自立に向けた学習」の内容を取り出し、「将来に向けて」「食育」「健康な身体」の3つのカテゴリーに分類して、学年縦割りのグループで検討を行うこととした。

<グループごとに>

- ・今までの内容を洗い出し、縦のつながり（学習の順序性）を考えて並べ替えてみる。こんなことも行ってみたらよいのではないか、できるのではないか、という学習内容の追加を行った。
- ・学習内容の中から、一つ選び授業実践を行った。どのような内容にするのか、どのような取り組み方が良いのかを検討し、実施後の反省や改善に向けての検討を行った。
- ・公開授業の研究協議の際、外部講師から「学習内容が十分かなどを検討する上で先行実践を参考にすることは大切」との助言を受け、紹介のあった筑波大学附属大塚支援学校の実践「学習内容表」を参考に、学習内容の検討と整理を行った。また、何年時に行うのが良いか、他教科や行事等との関連についても検討した。
- ・検討した内容をカテゴリーをわかり易く整理し一覧表を作成した。

#### 3. 考察

<将来に向けて>学習内容が多く、多岐にわたっていることがわかった。今年度は人との距離感について取り扱ったが、次年度は今年度の研究をさらに進めるだけでなく、働くことや福祉サービスの利用等についても研究を進めたい。

<食育>授業内容を検討し、それをどの学年で実践するか決めることができた。また、授業シートの授業について取り組みをグループで検討することができた。

<健康な身体>年に1、2回の授業で行っている現状では指導の継続性や定着が難しく、保健体育の授業と連携することや、学年ごとに取り組む内容を整理して積み重ねる必要がある。

グループごとに検討することで、「自立に向けた学習」で今までに取り組んできた学習内容の確認と、加えて取り組んでいったほうが良い内容について検討することができた。学習内容の確認をする中で、家庭科と内容が重複しているものがあることがわかったため、他教科も含め、自立に向けた学習の視点から、どちらで行うのが良いかを整理した。そのことにより限られた時

間数の中で効率よく取り組むことができると考えられる。また、整理した表を参考にすることにより、学習内容を考える際に、いつ、どのような内容に取り組んでいったらよいのかの指標とすることができる。

#### 4. 今後の課題

今後は、今回作成した表を基に授業実践を行い、不足している内容や不都合はないのかを確認していく必要がある。また、具体的な学習内容が分かるように、指導案、提示した資料（パワーポイント等）、プリントを紙ベースとデータベースでファイルして残していくことで、学習内容をイメージしやすく明確にしていけると良い。

今年度は「将来に向けて」「食育」「健康な身体」の категорияで検討を行ったが、「食育」と「健康な身体」の内容は限られており、関連性もあるため「健康に向けて」として1つの categoriaにまとめた。次年度はこの2つの categoriaで行うのか、「将来に向けて」のみをいくつかに分けるのか等、グループ編成の再検討が必要と思われる。

全体目標「自立に向けた学習内容の共有化」に対して今年度は高等部内の共有化を中心に進めた。次年度は他学部でどのようなことに取り組んでいるのかについて、今年度以上に目を向けることを通して表をより良いものにしていくことが課題である。

#### 5. 参考文献・資料

「特別支援教育のとおき授業レシピ」

監修：藤原義博／拓殖雅義 編著：筑波大学附属大塚特別支援学校（学研）

〈自立に向けた学習〉

		I	II	III	関連
将来に向けて	自己理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の属性（名前、性別、住所、電話番号、生年月日）がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の性格、趣味、適性、長所、短所などがわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを履歴書等に記入することができる。</li> </ul>	
	社会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、返事をする。</li> <li>・感謝、謝罪の気持ちを言葉で表す。</li> <li>・必要なことは丁寧な言葉で話す。</li> <li>・時間を守る。</li> <li>・季節の行事を行ったり、それにまつわる制作をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なことは丁寧な言葉で話す。</li> <li>・声の大きさや話し方を場所や状況に応じて調整する（人との距離感を含む）。</li> <li>・時間を見て行動する。</li> <li>・季節の行事の意味を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさや話し方を場所や状況に応じて調整する（人との距離感を含む）。</li> <li>・必要なことを伝達したり報告したりする。</li> <li>・異性との交際などの人間関係について知る。</li> <li>・季節の行事の意味を知る。</li> </ul>	実習事前学習
	働くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義（労働と報酬）を知る。</li> <li>・卒業後に働く場がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義（達成感と責任感）を知る。</li> <li>・卒業後に働く場がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義（誇り）を知る。</li> <li>・卒業後に生活する場がわかる。</li> </ul>	実習事前学習  校外行事事前学習 進路を語る会
	地域での生活福祉サービスの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な交通ルールがわかり、守ることができる。</li> <li>・順番を守って乗り降りする、車内では騒がないなどの交通機関を利用する時のマナーを知る。</li> <li>・地域にある利用できる公共機関を知る。</li> <li>・公共機関利用時のマナーを知る①。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号や横断歩道などを、自分で安全を確認しながら渡る。</li> <li>・交通機関のマナーを守って大人と一緒に利用する。</li> <li>・地域にある公共機関の利用の仕方を知る。</li> <li>・公共機関利用時のマナーを知る②。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールを守り、安全に気をつけながら一人で活動する。</li> <li>・交通機関のマナーを守り、一人で利用する。</li> <li>・行き先に応じた乗車券や定期券を使う。</li> <li>・地域にある公共機関の利用ができる。</li> <li>・公共機関利用時のマナーを知る③。</li> <li>・福祉サービス（手帳、年金）について知る。</li> </ul>	校外行事事前学習 交通安全教室 自力通学オリエンテーション

〈自立に向けた学習〉

		I	II	III	関連
健康 に 向 け て	健康 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に生活するために必要なことがわかる（食事・睡眠・休養・予防）。</li> <li>・自分でハンカチやティッシュを用意し、使う。</li> <li>・食事前・排泄後・外出後などに手を洗う。</li> <li>・食後などに歯を磨く。</li> <li>・体の部位の名称や体の調子についてわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に生活するために必要なことがわかる（リラックス・気分転換）。</li> <li>・手洗い時に指先まで意識して洗う。</li> <li>・食後などに磨き残しがないように歯を磨く。</li> <li>・体の仕組みと働きについてわかる。</li> <li>・男性と女性の体の違いについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に生活するために必要なことがわかる（酒・タバコ）。</li> <li>・病気やけがの対応がわかる（通院の方法）。</li> </ul>	家庭科 夏休みや冬休みの過ごし方
	食 生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の仲間分けをする。</li> <li>・賞味期限や消費期限がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスに気をつけながら食事をする。</li> <li>・栄養バランスとカロリー量を考えてメニューを選ぶことがわかる。</li> <li>・食品表示について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた献立を考える。</li> <li>・食品添加物がわかる。</li> </ul>	家庭科

教科で行う分野

<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒暖、天候に合わせて衣服を調節する。</li> <li>・時と場に応じた服装をする。</li> </ul>	2年の家庭科（家庭生活）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着衣後に鏡で確認して衣類を整える（シャツの裾をしまう）。</li> <li>・着衣後に鏡で確認して衣類を整える（袖・襟・リボン・ネクタイを整える）。</li> <li>・衣服を丁寧にたたむ。</li> <li>・ハンガーを使い、衣服を決まった場所（ロッカーなど）に片づける。</li> </ul>	1年の家庭科（家庭生活）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関するマナーを身につける（口周りの汚れを拭く・こぼさないで食べる・様々な食べ物を食べる・姿勢よく食べる・食べ過ぎない・適切な時間で食べ終わる）。</li> </ul>	1～3年の家庭科（食物）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を送る上で必要な経費について知る（食費、電気代、水道代など）。</li> </ul>	3年の家庭科（家庭生活）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラオケボックス、ボウリング場を利用する経験を積む（余暇）。</li> </ul>	3年の家庭科（家庭生活）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機を使ったり、スーパーやコンビニで買い物をしたりする。</li> </ul>	1～3年の国語・数学、LHR

＜題材名＞

『めざせ！キラキラ高校生』

【題材の位置づけ】

自立に向けた学習（将来に向けて）

＜こんなねらいで授業をしました＞

- ①これまでの自分の距離感について振り返ることができる。
- ②人との適切な距離感を学び、今後の生活に生かすことができる。

＜こんな内容で授業をしました＞

- ①教員によるロールプレイを見てこれまでの自分の距離感について振り返る。
  - ・教員と手をつなぎたがっていなかったか。
  - ・お気に入りの教員がいないことを理由に頑張っていないことはなかったか。
  - ・教員と会話をする際に距離が極端に近くはなかったか。
- ②正しい距離感（話す人が手を伸ばして相手の肩に触れる程度の距離）で話す練習をする。
- ③学習したことを今後の生活に生かそうという意識を持つ。
  - ・振り返りシートを使用。
  - ・学習したことは教員に対してだけでなく、生徒同士でも同様であることに気づく。



＜それぞれの自立という点で工夫した点・配慮した点＞※何を自立と考えたか？

- ①将来に向け、適切な対応の仕方を身につけることを自立のひとつと考えた。
- ②自分の行動を客観的に捉えることは難しいので、教員のロールプレイを見ることでこれまでの自分を振り返れるようにした。
- ③正しい距離感を具体的に示した。（話す人が手を伸ばして相手の肩に触れる程度の距離）

＜考察＞

- ①ねらいは達成できたか？
  - ・振り返りシートで生徒が理解しようとしている様子が見られた。
  - ・教員と手をつなぎたがっていた生徒のその後の様子に変化が見られた。
- ②こんな工夫があるとよかった／こんな取組を次にしたい
  - ・表があるとよかった（自分を中心に→家族→友人→親しくない人→知らない人と広がる円）
  - ・5回シリーズでは短かった。もっと細かく授業を続けられるとよい。

<題材名>

『めざせ！キラキラ高校生』

【題材の位置づけ】

自立に向けた学習（将来に向けて）

<こんなねらいで授業をしました>

- ①教員によるロールプレイを見ることができる。
- ②適度な距離を保った状態での挨拶を行うことができる。

<こんな内容で授業をしました>

- ①教員によるロールプレイを見る。
  - ・教員と手をつなぎたがる生徒。
  - ・お気に入りの教員がいないことを理由に頑張れない生徒。
  - ・教員と会話をする際に距離が極端に近い生徒。
- ②適度な距離（話す人が前ならえをして相手に触れない程度の距離）を保った状態での挨拶を行う。
  - ・身近な曲（「アルゴリズム体操」）を使用する。
  - ・前ならえをする際には手をしっかりと伸ばすことを指導する。
  - ・腰から上体を曲げてお辞儀をすることを指導する。
  - ・みんなで一緒に練習し、できるようになったら前に出て披露する。



<それぞれの自立という点で工夫した点・配慮した点>※何を自立と考えたか？

- ①将来に向け、適切な対応の仕方を身につけることを自立のひとつと考えた。
- ②生徒が教員のロールプレイを意欲的に見られるように多少大きなアクションで演じた。
- ③みんなで一緒に練習し、できるようになってから前に出て披露するようにした。

<考察>

- ①ねらいは達成できたか？
  - ・意欲的に教員のロールプレイを見る様子が見られた。
  - ・頭だけを下げた挨拶をしていた生徒が腰から上体を曲げての挨拶ができるようになった。
- ②こんな工夫があるとよかった／こんな取組を次にしたい
  - ・挨拶をしているところの写真（大人2人）を黒板に掲示したのは良かったが、教員と生徒の写真にすれば実際の活動により即して更に良かった。

＜題材名＞

『オリジナル焼きそばの材料を考えよう』

【題材の位置づけ】

自立に向けた学習（食育）

＜こんなねらいで授業をしました＞

- ①赤、黄、緑の食べ物の働きを、体調と関連付けて具体的に知る。
- ②焼きそばの材料を、食べ物の働きを考えて決めることができる。

＜こんな内容で授業をしました＞

- ①教員が「肌ツル代さん」「便秘ぎみ男さん」「疲れやす子さん」にふんしたロールプレイを見て、赤・黄・緑の食べ物の働きを楽しくわかるようにした。
- ②プリントに「体調カード」を貼り付ける作業を行い、まとめをした。
- ③指定した食材から、焼きそばの材料を赤から1つ、緑から3つ選び、オリジナル焼きそばを考える。
- ④班で意見をまとめ、焼きそばのタイトルをつける。（ここで考えたオリジナル焼きそばは、後日、家庭科で実際に調理した。）



＜それぞれの自立という点で工夫した点・配慮した点＞ ※何を自立と考えたか？

- ①将来、栄養バランスの良い食事を自分で用意できることを自立と考えた。
- ②赤、黄、緑の食べ物が体調に与える影響を具体的に知ってもらうことに重点をおき、食べないと「うんちがでない」「かぜをひきやすい」などわかりやすい言葉とイラストで伝えるようにした。

＜考察＞

- ①ねらいは達成できたか？
  - ・「食べ物の働きを知る」は達成できた。
  - ・「焼きそばの材料を、食べ物の働きを考えて決める」については、「赤から1つ、緑から3つ選びなさい」という枠組みの中での課題だったので、ただその指示に従って決めただけであったかもしれない。
- ②こんな工夫があるとよかった／こんな取組を次にしたい
  - ・赤、黄、緑の食べ物の適度な分量などにも触れ、上述のような枠組みのない状態で食材選びや献立を決めるといった取り組みを次はしてみたい。
  - ・具体的には、栄養バランスを考えて、バイキングで自分で取る、コンビニで食事を買う、お弁当の中身を考える、などの題材が考えられる。

<題材名>

『健康な生活 ~卒業後の健康管理について~』

【題材の位置づけ】

自立に向けた学習(健康なからだ)

<こんなねらいで授業をしました>

- ①健康な生活を送るために自分で健康管理ができるようになる。
- ②健康な生活を送るために必要なことを考える。
- ③心にも健康があることを知り、良い状態を保つ方法を考える。
- ④お酒やたばこなど、成人期の健康について考える。

<こんな内容で授業をしました>

①<養護教諭による保健の話>

- ・元気な時とそうでない時の状態を、イラストや文字カードを使って整理した。
- ・「食事・睡眠・清潔・運動」が健康を保つために必要だという確認を行った。

②<グループ学習>

- ・健康について、(からだ編)(こころ編)(社会人編)とテーマ毎のプリントを用意した。
- ・プリントで自分の健康について振り返りを行った他、怪我をしたり風邪を引いたりした時の処置の仕方を、救急セットを使いながら体験的に考えるようにした。



<それぞれの自立という点で工夫した点・配慮した点> ※何を自立と考えたか?

- ①社会人になるにあたり、健康な状態が分かり、自分でその状態を保てるようになることを自立と考えた。
- ②テーマを明確にプリントを作成することで、何について学習するのかを分かりやすくした。
- ③包帯や絆創膏など、実際に使用する道具を使って学習を進めた。

<考察>

①ねらいは達成できたか?

- ・プリント学習や体験的な学習を通して「考える」過程は行うことができた。
- ・一つの時間に行う学習内容が多くなってしまい、身に付いたかどうかを評価するに至らなかった。

②こんな工夫があるとよかった/こんな取組を次にしたい

- ・評価の方法として、発問をして答えさせたり、成果物を作ったりするやり方がある。
- ・他教科と連携して、保健体育として「健康」について学習することも考えられる。
- ・内容を整理したり、授業時数を確保したりして、充実した学習ができるようにしていく。